

単元名 漢字を正しく使えるように

配当時間 2時間

単元の目標 (1) 第5学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、第6学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うことができる。
(3) 第6学年に配当されている漢字の学習に取り組み、同じ読み方をする漢字を正しく使おうとする。

標準的な展開例

06010304_001

【教材名】漢字を正しく使えるように

(P. 201～P. 203)

【準備等】国語辞典、漢字辞典

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 適切な漢字を書くための方法に倣い、漢字を適切に選んだり、書き換えたりする。</p> <p>★漢字の意味を考えて、適切な漢字を使おう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「同じ読み方をする漢字」を使うときに、迷った経験を話し合う。 ○教科書 (P. 201～202)「訓読みの場合」について、適切な漢字を書くための方法を知り、正しい漢字を選び、ノートに書く。 <ul style="list-style-type: none"> ・漢語で言い表してみる。 ・別の訓読みで言い表してみる。 ・熟語を考えてみる。 ○教科書 (P. 202)「音読みの場合」について、適切な漢字を書くための方法を知り、正しい漢字を選び、ノートに書く。 <ul style="list-style-type: none"> ・訓読みを考えてみる。 ○教科書 (P. 202)の漢字を正しく書き直す。 <ul style="list-style-type: none"> ・小かげ→木かげ ・独り事→独り言 ・成課→成果 ・感心→関心 <p>2 教科書 (P. 203)「覚えておきたい言葉」の意味を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「覚えておきたい言葉」の意味調べをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自由に意見を出させることで、「同じ読み方をする漢字」に関心をもたせる。 ・教科書に書かれている例を参考にさせながら正しい漢字を選ばせる。 <p>【評】適切な漢字を選ぶ活動を通して、漢字を正しく使おうとする「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書に書かれている例を参考にさせながら正しい漢字を選ばせる。 ・教科書 (P. 202)の問題に取り組ませる。 ・困っている児童には、「つとめる→とりよくする」などの、ヒントカードを用意するとよい。 ・正しい漢字をノートに書かせる。 ・これまでの学習を基に、どのように考えて直したのかということも発表させるとよい。 <p>【評】漢字を正しく書き直す活動を通して、既習の漢字を文や文章の中で使う「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あらかじめ家から辞書を持ってくるようにさせるか、図書室などで全員分の辞書を用意しておく。 ・辞書を引いて意味を確認させるだけでなく、漢字を書くこともさせる。 ・学級の実態に応じて、ペアやグループなどで行うなどさせてもよい。

【 備 考 】